

シャドー・ダンサー (2011)

SHADOW DANCER

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ

製作国 アイルランド／イギリス

色彩 Color

時間 101分

初公開日 2013/03/16

公開情報 コムストック・グループ

映倫 G

【キャッチコピー】

彼女に残された選択は、
25年の刑務所暮らしが密告者（スパイ）になることだった。

【解説】

「キング 罪の王」「マン・オン・ワイヤー」のジェームズ・マーシュ監督が、トム・ブラッドビーの『哀しみの密告者』を映画化したヒューマン・サスペンス・ドラマ。イギリスとアイルランドの長い闘いの歴史を背景に、1990年代初頭の北アイルランドで、愛する我が子を守るため仲間を裏切りスパイとなったIRAの女性闘士の極限の葛藤を描き出す。主演は「ウォリスとエドワード 英国王冠をかけた恋」のアンドレア・ライズブロー、共演に「トゥモロー・ワールド」「ザ・バンク 墮ちた巨像」のクラヴィ・オーウェン。

北アイルランドに暮らすコレットは、幼い頃からIRA（アイルランド共和軍）の活動に従事する家族の中で育ち、いつしか自らもIRAの闘争に身を投じていく。そんなコレットは1993年、ロンドンで爆破未遂事件の容疑者として逮捕されてしまう。幼い息子を抱えるシングルマザーのコレットに対し、MI5（イギリス諜報局保安部）の捜査官マックは、拘留を免除する代わりにスパイとしてIRA内部の動向を監視・報告するよう迫る。選択の余地のないコレットは、家族を欺き、密告者として生きることを決意する。やがてIRA幹部がスパイの存在を疑い始める一方、マックもまた、コレット以外にも内通者がいると気づき、自らの上司に疑いの目を向け始めるが…。

【クレジット】

監督	ジェームズ・マーシュ	James Marsh
製作	クリス・コーエン	Chris Coen
	アンドリュー・ロウ	Andrew Lowe
	エド・ギニー	Ed Guiney
製作総指揮	ジョー・オッペンハイマー	Joe Oppenheimer
	ノーマン・メリー	Norman Merry
	トム・ブラッドビー	Tom Bradby
	ブラヒム・シウア	Brahim Chioua
	ヴァンサン・マラヴァル	Vincent Maraval
	リタ・ダゲール	Rita Dagher
原作	トム・ブラッドビー	Tom Bradby
脚本	トム・ブラッドビー	Tom Bradby
撮影	ロブ・ハーディ	Rob Hardy

『哀しみの
密告者』
(扶桑社刊)

プロダクションデザイン	ジョン・ヘンソン	Jon Henson	
衣装デザイン	ローラ・マリー・マガン	Lorna Marie Mugan	
編集	ジックス・ゴッドフリー	Jinx Godfrey	
音楽	ディコン・ハインクリフェ	Dickon Hinchliffe	
出演	アンドレア・ライズブロー		コレット・マクビー
	クライヴ・オーウェン	Clive Owen	マック
	ジリアン・アンダーソン	Gillian Anderson	ケイト・フレッチャー (MI5)
	ブリッド・ブレナン	Brid Brennan	コレットの母
	エイダン・ギレン	Aidan Gillen	ジュリー・マクビー
	ドナルド・グリーソン	Domhnall Gleeson	コナー・マクビー
	デヴィッド・ウィルモット	David Wilmot	ケヴィン・モルビル
	スチュアート・グレアム	Stuart Graham	
	マーティン・マッキャン	Martin McCann	